

目標達成計画

【 目標達成計画 】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	コロナ渦で感染症に配慮が必要となっている中、利用者さんが新たな楽しみを見つけられるようなレクリエーションの提案	利用者さんが楽しんで頂けるようなレクリエーションの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・室内でも楽しめるようなレクリエーションの提案(テーブルゲーム・インターネットを活用した新しい体操、筋力運動、歌等) ・室内でも食とレクを楽しんで頂けるよう、食事レクの提案(利用者さんと共に調理、おやつ作り、ライブ調理等) ・外出気分を少しでも感じて頂けるよう、外部のテイクアウト等の活用を行い、非日常を提案する。 ・社会状況を勘案しながら、必要な感染症対策を行い、個別で郊外の外出等を行う。 	1年
2	-	対外的(医療機関、来客電話、面会等)な対応時、緊急対応等の際、職員同士周りのスタッフとの連携と取りながら、一人一人が対応力を持ち、自身で対応する意識、自覚しを持ち対応する	全員が協力して業務、対外的対応、医療機関の対応等を行う事を目指す	<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人一人、愛宕館のチームの一人である事を自覚し、対外的対応、医療対応、受診対応、面会者対応等を行えるよう努める。 ・利用者さんの状況の説明力、伝達力、医療対応、緊急時対応等、学び、訓練し、日々の業務の中でトレーニング、経験を重ね、対応力を身につける。 ・常時視点を広く持ち、自分の業務だけではなく、周りの状況、利用者さん、職員の動きを考えながら、動けるように努める。 	1年
3	33	ターミナルケアの学びがしたい	ターミナルケアの際、全職員と共に心穏やかに、安心してケアを提供する	<ul style="list-style-type: none"> ・ターミナルケアに関しては、ご本人、ご家族と話し合い、医療機関と共に行える事、出来ない事、これから起こりうる状況等を確認し合いながらターミナルケアを支援させて頂く ・職員全員で看取りに関する意味、学びを行う。 ・何よりも第一に利用者さん自身が安心、安楽に生涯を過ごせるよう職員全員で話しあい、対応を行う。 	1年
4	34	体調の変化、急変、認知症に対する知識の向上、対応の方法の強化	様々に変化する身体症状、認知症状に対する対応力をさらに深め、利用者さんの安心出来る日々のケアに生かしたい	<ul style="list-style-type: none"> ・アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、脳血管性認知症等、それぞれの認知症状に合わせた対応で利用者さんの安心できる日々を支えたい。 ・バッググラウンドの把握し認知症状の原因、対応する鍵を探る。 ・混乱症状の対応力の強化(興奮、混乱、入浴、整容行為の拒否等) ・内服と認知症状、副作用についても学びを進める。 ・介護上必要な医学的知識の学び。 ・体調変化時、確認すべきポイント、確認すべき対応を学ぶ、対応マニュアルを更に使いやすく改善する。 	1年
5	26	チーム力の向上	チームでケアさせて頂く事で利用者さんの安心できる日々の継続を目指す	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員が共通の意識を持ちながらケアが出来る様、情報の伝達、常務の曖昧さを少なく出来る様努める。 ・カンファレンスや日々の聞き取り等により職員全員で忌憚なく発言し合い、なぜ、どうして一致したケアが必要であるかを考える(自らの思いを話せるように) 	1年

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。

目標達成計画

【 目標達成計画 】

優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	52	居心地のよい環境を作る。	共有スペースやそれぞれの居室は整理整頓されて、清潔な居住空間を作る。スタッフ自身も利用者様にとって環境であることを認識し接遇の向上を目指す。	共有スペースや各居室は快適で安全に過ごせるように整理整頓し安全な導線確保に努める。スタッフ自身も利用者様にとって環境であることを常に意識する。心地よい存在になる為、利用者様を敬う言葉使い、驚かせない声のトーン、立ち振る舞い等の接遇の向上を目指す。利用者様同士の間関係にも良好に保たれるように関わり、一人一人が大切な存在である事を伝えていく。	1年
2	48	コロナ禍にあって、制限のある生活の中でも、生活の質を落とさず、外出がままならない分、レクリエーションの充実を図る	日々の生活が単調にならないように、それぞれの持つ力を生かす。趣味活動の継続、楽しめるレクリエーションの充実を図る。	スタッフは利用者様一人一人の持っている力を見極めて、介助しすぎず、持つ力を引き出すケアに努め、励まし支える。調理、洗濯物の片づけ等、生活の中の様々な場面の中でも利用者様と共に行う。毎日行っている体操の内容もレベルアップする。年間、月間のレクリエーション企画を立てて実践する。季節ごとの絵画制作、YouTube等を活用した皆さんに馴染みの昔の番組、歌番組、映像視聴、ゲーム、脳トレ等、一人一人が生活に満足できるようにそれぞれに合わせた活動を提供し共に楽しみ、生活の質のさらなる向上に努める。	1年
3	37 ・ 38	利用者様本位のケアの実践	スタッフ側の都合や思いを優先することなく、一人一人の思いをくみ取り、気持ちを表出しやすい環境を作る。	例として自分の思いを表出する環境作りとして、昼食後にカフェタイムを設け、好きな飲み物をメニューから選択する機会を作る。自分の希望を言えるように関わる。日々の生活の中で、スタッフの思いや都合を優先することなく、一人一人の思いを言葉や表情からくみ取れるように、関係を築き、本人のペースに合った関わりに努める	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。